

2024年度

第1回

一般2科4科 英語資格1科

入学試験問題

国語

試験時間 45分

注意

- 試験開始の合図^{あいず}があるまで、この問題冊子^{さつし}を開いて見てはいけません。
- 問題は□^一から□^四まであり、全部で11ページです。足りないページや、印刷が分かりづらいところがあった場合は、手をあげて監督者^{かんとく}に申し出てください。
- 解答用紙と問題冊子の決められた場所に受験番号を記入してください。
- 答えはすべて解答用紙の決められた欄^{らん}に記入してください。
- 答えを直すときは、きれいに消してから新しい答えを書いてください。
- 試験終了後、監督者の指示にしたがって解答用紙を問題冊子とともに提出してください。
- 特に指示の無いかぎり、句読点や記号は1字で数えます。

佼成学園女子中学校

受験番号

--

□ 次の文章は十九世紀のフランスの女性作家が書いた童話です。これを読み、後の問いに答えなさい。

宇宙で創造されたあらゆるものが、まだ神々の言葉を話していたとき、ぼくは嵐の王の長男でした。そのころ、ぼくの黒い翼は果てしなく続く地平線の両端まで広がり、豊かな髪の毛はいくつもの雲を絡ませています。ぼくの姿は見るも恐ろしいほどです。ぼくは夕闇の雲を集めてひと塊にし、暗闇を地上と太陽の間にマントのように広げる力を持っていました。

ぼくは父や弟たちといっしょに、荒野だった地上を長い間支配してました。破壊することと混乱させることが役目でした。ぼくと弟たちは地上に向かって吠え立て、生まれ出る生命を根こそぎ吹き飛ばすように扇ぎ立てたのです。ぼくは弟たちよりも力強く、一番荒々しいものでした。父王は地上の破壊に疲れると雲の上で体を休められ、^①その間ぼくが父の役目をひき継いだのです。

けれど、ぼくたちの手の届かない地中には力強い女神の胎動がありました。女神の名前は「生命」でした。生命は地上に生まれようとしていたのです。山を割り、海を満たし、土くれをあつめ、ある日、いたる所で生命が芽ぶきました。ぼくたちはさらに力をふるって戦いました。

しかしそれは、ぼくたちの手からたくみに逃れることのできる小さな弱い生命を数多誕生させる結果となったのです。背丈の低い柔らかな草花や透きとおる貝殻が、温かみの残る地殻や水の中から姿を現わしました。ぼくたちは、わずかに形を見せはじめたこうした生き物たちの上に激しい怒りを叩きつけたのです。けれど、それも空しい試みでした。

生命は新しい形を次々に開花させていったからです。

見かけは受け身ながらしぶとく抵抗するこうした生き物たちに、ぼくと弟たちはげんなりしはじめていました。あらゆる種類の生き物を打ちのめしたはずなのに、それに耐え抜くように創られた生き物が、次から次へと顔を出すのです。ぼくたちは疲労困憊し、怒り心頭でした。そして父王にさらなる攻撃法を問うため、雲の頂に退散したのです。

(中略)

「暗雲で空を覆い尽くし、吠え叫べ。お前たちのひと吹きで森をなぎ倒し、海を荒れ狂わせよ。行け。我らに榊突く生命の精が根を伸ばそうとしているあの呪うべき浜に、一匹の生き物、一本の植物たりとも残っている間は、戻ることはないならぬ」

ぼくたちは、死を撒く種となり両半球へ散りました。ぼくは雲の垂れ幕を切って進む鷲のように、古代の東の国へと急いだのです。アジアの高い山々から海に向けて下ったくぼ地に、焼けつく太陽を浴びて巨大な植物と猛獣たちが生まれていました。

ひと休みすると、ぼくの身体には力が漲っていました。ひ弱なぶんざいで榊突くものどもを混乱させ、息の根を止めてやらねばならない。翼のひと振りがひとつの国を全滅させ、息のひと吹きが大きな森をなぎ倒すのです。自然の中で最も強い自分の力に、ぼくはすっかり得意になっていました。

すると突然、今までに感じたことのない憧れにも似た未知の香りが、ぼくを吹き抜けていきました。味わったことのない新鮮な心地にはっとし、わけを知ろうと立ちすくんだのです。えいわれぬほどみずみず

しく繊細な生き物を初めて目にしたのはそのときでした。地上を空けたすきに生まれた花でした。バラの花だったのです。

ぼくは、花を押しつぶそうと、バラのもとに急ぎました。バラは草の上を身を投げ、哀れみを請いました。「お願い、助けて！ わたしはこんなに美しく、こんなにかぐわしい。この香りをかいでみてください。そうしたらきつと見逃してくれるでしょうに！」

③ ぼくはバラの香りを胸深く吸い込みました。すると、思いがけぬ陶酔に激しい怒りはすっかり和らいでしまったのです。ぼくは草の上に横になり、バラの傍らで眠ってしまいました。

目を覚ますとバラは身を起こし、静かなぼくの吐息でそよいでいました。「わたしと友だちになって」とバラがいました。「あなたが好きよ。恐ろしい翼はもう閉じられているんですもの。あなたはすてきね。きつと森の王様に違いないわ。怒りの和らいだ吐息はやさしい子守唄のよう。このままここにいてちょうだい。それが無理なら、太陽と雲が間近に見えるところまでわたしを連れて行って」ぼくはバラを胸に抱き、空中に舞い上がりました。バラはたちまちしおれていきました。ぐったりしたバラはもう、話しかけることはありませんでした。

それでもぼくはバラの香りにうっとりしていたのです。ぼくはバラの生命が消えないように、小さな衝撃をも避け木々の梢を注意深くかすめ、父王の待つ暗雲の宮殿へと飛び続けたのです。

「何ごとだ」父王がいわれました。「インドの大河あたりの森を手つかずのままに帰るとは。すぐに戻って根こそぎにするのだ」

「わかっております、父上。でもわたしが助きたいこの大切な宝物を父上に預けることをお許しください」

「助けるだと！ お前はいつたいなを助けないのか！」父王は

激しくお怒りになりました。

あつという間もなく、父王はぼくの掌のバラの花を引きちぎってしまわれました。しおれた花びらは空中へ散っていきました。せめてもひとひらの花びらを拾おうと、ぼくの心ははやりました。けれど怒りに燃えた父王は、ぼくを掴まえ、膝頭で胸を押さえつけ、容赦なく翼をひきむしってしまったのです。羽毛は花びらの散る空中へ乱れ飛んでいきました。

父王は申されました。「哀れなやつめ。お前は情けというものを知ってしまった。お前はもう、わしの子ではない。わしに戦いを挑む、忌むべき生命の精がいる地上に落ちてしまえ。わしの庇護なくして生きられぬお前が、そうなたらどんなさまになるやら。こいつは見ものだ」

父王はぼくを暗い闇の底へ突き落とすと、それっきりぼくとの縁を断たれたのです。

ぼくは旋回しながら草地へ落ちていきました。見棄てられて落ちたところは、あのバラのすぐ近くでした。バラは以前にも増して輝き、香り豊かでした。「どうしたことだ？ 死んだとばかり思って涙にくれていたのに。なぜ生き返ることができたのだ？」

「それは、生命の精があらゆる生き物に力を与えてくれるからよ。わたしを取り巻いているこの蕾たちを見て。夜になったらわたしの輝きは消え、生まれ変わる準備をするの。でも、美しい妹たちがあなたをうっとりさせ、花盛りの香りでもてなしてくれるでしょう。ここにいてちょうだい。あなたはバラの仲間、大切な友だちじゃありませんか」

※4 不遇な我が身が胸がつまり、涙が溢れました。流れ落ちた涙によって、ぼくはその地と永遠に結ばれたことを感じたのです。

ぼくの泣き声を聞いて心を動かされた生命の精が、まばゆい姿で現れ
 ました。「あなたは哀れみを知ったのですね。あなたはバラの花を哀れ
 みました。今度はわたくしがあなたを哀れみます。あなたの父君は強い
 方です。④でも、わたくしはもつと強いのです。父君は破壊する方です
 が、わたしは創ることができます」そういうと、生命の精はぼくに触れ
 られました。⑤するとぼくは、バラ色の顔をした少女に変身してしまし
 た。肩に生えた蝶の羽をはためかせ、柔らかな風となって楽しげに飛び
 まわったのです。

100

【A】

生命の精がいわれました。「清々しい森の隠れ家で花といっしょ
 にお暮らしなさい。木の葉の丸天井があなたを隠し守ってくれま
 す。わたくしが荒れ狂う自然の力を統治した暁には、あなたはま
 た地上を翔めぐることができます。あなたは人々から祝福され、詩
 人はあなたを詠うようになるでしょう」
 その日からぼくは、天と地のすべてのものと和解し、人や動物、
 植物から愛されて生きるようになりました。

110

(ジュールジュ・サンド著「ROSA E BREZZA」)

田中眞理子訳『薔薇と嵐の王子』

*作問の都合上、一部省略・改変した箇所があります。

105

※1 胎動……新しい物事が内側から動き始めること。

※2 陶酔……うっとりして心をうばわれること。

※3 庇護……かばって守ること。

※4 不遇……運が悪く、自分の価値を認めてもらえないこと。

問一 ――線部 a 「空しい」、b 「楯突く」、c 「えもいわれぬ」につい

て、本文中の意味として最も適当なものを次の中からそれぞれ選
 び、記号で答えなさい。

a ア 嘘の イ 楽しい

ウ 無駄な エ 正直な

b ア 壁をつくる イ 反抗する

ウ 倒される エ 味方する

c ア 言い表すことができない

イ 絵では表現できない

ウ なんとなく悲しい

エ 浮き浮きとして楽しい

問二 — 線部①「その間ぼくが父の役目をひき継いだのです」とありますが役目とはなんですか。最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア 神々の言葉を話すこと。
- イ 破壊することと混乱させること。
- ウ 雲の上で体を休めること。
- エ 山を割り海を満たすこと。

問三 — 線部②「哀れみを請いました」とありますが、どういうことですか。「誰が」「誰に」「どうしたのか」をわかりやすく説明しなさい。

問四 — 線部③「ぼくはバラの香りを胸深く吸い込みました」とありますが、その前後で「ぼく」の感情はどのように変化しましたか。次の解答文の□に当てはまる最も適当な言葉をそれぞれ指定された字数で本文中からぬき出しなさい。

自然の中で最も強い自分の力に a (二字) になっていた「ぼく」は、バラを押しつぶそうとしたが、香りを胸深く吸い込んだ後は、思いがけぬ陶酔に激しい怒りはすっかり b (八字)。

問五 — 線部④「でも、わたくしはもつと強いのです」とありますが、生命の精がこのように言うのはなぜですか。次の中から適当でないものを一つ選び、記号で答えなさい。

- ア しおれたバラの花だけでなく、あらゆる生き物に力を与え生まれ変わらせることができるから。
- イ 嵐の王の生き物を打ちのめす強い力よりも、生命の精の命を生み出すしぶとさが勝るから。
- ウ 破壊するより生み出すことの方が地上においては尊い行為だから。
- エ 地上において最も強い力を持ち、自然を力づくで支配しようとするから。

問六 — 線部⑤「するとぼくは、バラ色の顔をした少女に変身してしまいました」とありますが、どのようなものになったのだと考えられますか。次の中から最も適当なものを選び、記号で答えなさい。

- ア 台風
- イ つむじ風
- ウ そよ風
- エ 木枯らし

問七 次の【B】は本文中の で囲った【A】と同じ部分を

別の翻訳家が日本語訳したものです。【会話文】はこの二つの文章を読み比べた先生と生徒たちの会話です。これを読み、次の(1)、

(2)の問いに答えなさい。

【B】

「花々とすがすがしい林で過ごせばいいだろう」と妖精が言った。「今これらの緑の屋根がお前を隠し保護してくれるだろう。後になって、^①ぼくが四大元素の怒りに打ち勝てば、^②お前は地上を駆け回ることができ

る。そこではお前は人間に祝福され詩人に歌われるだろう。

ところで、かわいいバラよ。お前は初めて美によって怒りを静められたのだから、今日自然界で敵対している力を、未来は仲良くさせる目印になりなさい。また将来は人類を教えることになるだろう。というのは文明化されたこの人類という種族は全てのもを自分たちの要求に役立たせたいものだから。私の最も貴重な贈り物、優雅、柔和、そして美を、彼らは富や力より価値がないと思う危険がある。かわいいバラよ、彼らに教えてあげなさい。一番大きく、一番正當な力は魅惑し、和解する力だよね。お前に一つ肩書きをあげよう。未来永劫にお前からそれを取り去ることはできない。私はお前を花の中の女王にしよう。私がつくる王国は神聖で、行動の方法は一つしかない。それは魅力だ」

この日からぼくは人間、動物、植物に愛されて空とともに平穩に暮らしている。

(小倉淳子訳『花のささやき』)

【会話文】

先生 二つの文章を比較して、なにか気付くことはありましたか。

生徒A 【A】に書かれていない部分も【B】にはありますね。

先生 良いところに気付きましたね。

生徒B 「ところでかわいいバラよそれは魅力だ」は、本文【A】では書かれていないですね。日本語訳をする人によって、訳したり訳さなかったりすることもあるんですね。

生徒C 省略されているバラの話は、大切な内容なのかどうか、考えてみる必要がありますね。

生徒A 重要な話をしているように思うけれど、みんなはどう思いますか。

生徒B 地球上でバラに与えられた役割の話をしていますね。

生徒C ここに書かれているバラの役割って ということなのでしょう。バラの花の美しさとか、香り高い性質は人々に安らぎを与える場合もありますから。

先生 ここには、作者が読者へ向けたメッセージが隠れているのかもしれないですね。

(1)——線部①「ぼく」、②「お前」は本文中の誰を指していますか。
次の中からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

ア 嵐の王 イ 嵐の王子 ウ バラ エ 生命の精

(2) 生徒Cが述べているバラの花の役割とはなんですか。

に当てはまるように、【B】の語句を用いて六十字以内で説明しなさい。

二

次の文章は「今いる環境が精神状態に悪影響を与えているときの対処法は？」という質問に対して、小児精神科医として活躍する筆者が回答した文章です。これを読み、後の問いに答えなさい。

ムリに周りに馴染もうとする必要はないのでしょうか。自分に合った場所や環境を見つけ出して、周りの言うことに左右されずに幸せでいられればいいのです。人によって生活しやすい場所や生活しにくい場所というのが必ずあります。

(1) アメリカと日本では、社会的に求められることが全然違います。アメリカは社交的な振る舞いができるかどうかに価値が置かれます。大勢の前で上手なスピーチができるとか、ディスカッションの中で自分の意見がしっかり言えるといったことが評価される傾向があります。一方、日本では、他者への気遣いができるかどうかが大切で、組織やチームの中で自分の役割を全うできたり、相手に敬意を示す発言ができたたりする人が評価されることも多いです。どちらの社会がいいということではなくて、どちらの社会にも向いている人と向いていない人がいます。自分の意見をしっかりと表明できる人は、日本社会で浮いてしまう場面があるでしょうし、周りへの配慮がきちんとできる人は、アメリカ社会では、相手の気持ちを考えすぎて、うまく意見が言えない場面があるでしょう。

② 社会にうまく馴染めないと感じている人は、「価値観は1つではない」ことをぜひ意識してください。今の社会は偶然、自分の苦手なことと求められていることが一致してしまっているだけで、他の場所に移れば、一気に楽になることもあるのです。

※1 コミュニティをちよつと変えて、自分に合った環境を

見つけられれば、自己肯定感を回復させ、高めていくことができずし、環境を変えなかったとしても、違う価値観の環境が存在するんだと知るだけでも気持ちが悪くなることもあります。社会に求められるものを全部自分が持たなくてはならないと考える必要はなく、むしろ自分にとって「大事な価値観は何か」を考え、その価値観を尊重することが大切なのです。

実は私も、自分の大切にしたい価値観を守るためには日本を出なければと思うことがあり、アメリカに移りました。日本で「主体性を持った女性」として幸せになるのは非常に難しいと思ったのです。

③ 私がこの話をするときによく例を出すのが「ドラえもん」に出てくるしずかちゃんです。しずかちゃんはものすごく頭がよくて、優しくて、いろいろなものを持っている人です。能力のある人なのに、物語の中でどういった役割を担っているかといったら、将来のび太君と結婚する人、のび太君を「がんばって」と応援する人というように、男性をサポートする役回りを中心です。

また、小学生でありながら頻繁にお風呂をのぞかれている性的な対象です。彼女が主体性を持って、のび太君やジャイアン、スネ夫に対してリーダーシップを発揮しているところや、頭のよさを頼られて意見を求められるような姿を私はあまり見たことがありません。

「能力のある女性がそれを発揮しないで男性を支える」ことが女性の美しさとして賞賛される流れが物語に表れているのを感じます。もちろん、フィクションではありませんが、お茶の間で家族揃って観る作品は、社会の中でみんなが無意識に共有している考えが表れているのです。

④ そして、子どもたちが観ることによって、その影響を知らないうちに受けていき、「思考の再生産」が行われる効果もあります。

私は「しずかちゃんのように生きたい」と思った女性が、実際にそういう生き方をするかを否定するつもりはまったくありません。(2)、「どのような女性になりたいか」という選択肢をいろいろと提示されて、その中から選んだのではなくて、社会が抱く画一的な女性の理想像を無意識に押しつけられて、「自分の能力は二の次で、男性の陰に隠れてサポートするのが当たり前」と思ってしまったのなら、それは個人の選択とはいえません。

「フェミニズム」というのは、女性が選択肢を増やしていくことを尊重する^{※2}ムーブメント、あるいは学問だと思いますが、その選択肢の数と幅が、日本ではとても少なく、狭いと感じていました。

これは男性も同様で、「男としての理想像」を押しつけられて、違和感を覚えている人もたくさんいるのではないかと思います。

実際に、私が医学生時代に、同級生の男の子たちからかけられた言葉は「医者には力仕事だから女性は向いていないと思う」「日本の少子化を止めるためには女性が働かない選択をするしかない」といったことでした。私のいた北海道大学医学部は1学年100人のクラスの中に女性は16人だけで、圧倒的^{※3}マイノリティでした。

アメリカと比べてみると、ハーバード大の医学部の1年生は60%が女性です。もう何十年間も前からアメリカの医学部は男女比率が半々くらいですが、私の医学部時代の同級生が心配していた「女性医師が力仕事で苦しむ」場面は見られませんし、少子化問題も日本のような深刻さではありません。

日本社会から求められる女性像への違和感から、私は日本では医師として主体的に生きることができなさそうだと、また主体的に^{※4}キャリアに関わる中で家族を持つことができるだろうか、私は総合的に幸せな人

生を送れるだろうか……と考えるようになっていったのです。

(3)、女性が医師として専門性を高めてリーダーシップを取ることを頻繁に目にする、そしてプロフェッショナルな女性として^{※5}リスクを担われる^⑤アメリカで働くことを決意し、^⑤猛勉強を始め、大学在学中にアメリカの医師国家試験に合格することができました。

(内田舞「WIFIコロナ時代の『心の守り方』」
* 本文は設問の都合上、一部表記を改めてあります。

※1 コミュニティ……共通の目的や興味、地域などによって結びついている人々の集団。

※2 ムーブメント……社会的な運動。

※3 マイノリティ……少数派。

※4 キャリア……職業経験などの人生設計。

※5 リスペクト……尊敬。

問一 (1) (3) に当てはまる語として最も適当なものを

次の中からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

ア それで イ しかし ウ つまり エ たとえば

問二 —— 線部 a 「自己肯定感」、b 「画一的な」の語句の意味として最も適当なものをそれぞれ選び、記号で答えなさい。

a ア 自分自身に、または自分の言動に、自分で満足する心の状態。
イ そのままの自分を認め、自分に価値を感じることができ
心の状態。

ウ 自分は何者なのかという考えがはっきりと定まっている
心の状態。

b ア 他のものよりも劣っているさま。

イ 何もかも一様にそろっているさま。

ウ 相手に一方的に押しつけてくるさま。

問三 —— 線部 A 「られれ」と同じ意味のものを次の文の線部から

選び、記号で答えなさい。

ア 遠方から市長さんが来られる。

イ 昨年亡くなった祖母のことが思い出される。

ウ 強い風に吹きあおられる。

エ 今の実力なら合格点を軽く超えられるだろう。

問四 —— 線部①「アメリカと日本では、社会的に求められることが全

然違います」とありますが、筆者によればアメリカと日本の社会が
求めることはそれぞれどのようなことですか。本文中の言葉を用い
てそれぞれ十五字以内で答えなさい。

問五 —— 線部②「社会にうまく馴染めないと感じている人は、『価値

観は1つではない』ことをぜひ意識してください」とありますが、
筆者がこのように述べるのはなぜですか。その理由として適当でな
いものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 社会を支配している価値観がどのようなものであっても、それに
向いている人と不向きな人がいるから。

イ 今所属しているところとは別の価値観を持った場所に移れば、一
気に楽になることもあるから。

ウ 今いる社会とは違う価値観が尊重される環境があると知ること
で、気持ち楽になることもあるから。

エ 社会から求められるものを、全部自分が持たなくてはならな
いと考える必要はないから。

問六 —— 線部③「『ドラえもん』に出てくるしずかちゃん」とありま

すが、日本の社会では彼女のどのようなことが女性の美しさとして
賞賛されると述べられていますか。本文中から二十五字以上
三十字以内でぬき出しなさい。

問七 ——線部④「『思考の再生産』」とありますが、その説明として最

も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 社会の中で共有されている考えが直接的に表現されている作品を
読ませることによって、いつの世も変わらない真理を新しい世代へ
受け継がせていくこと。

イ 社会の中で共有されるべき理想的な日本の姿を作品化することに
よって、希望を失っている若い世代の自尊心を高めていくこと。

ウ 社会の中で無意識に共有されている考えがひそむ作品を視聴する
ことによって、新しい世代が知らないうちに同様の考えを持つよう
になること。

エ 社会の中で普段は隠されている日本的な価値観を作品の中で明ら
かにすることによって、新しい世代が伝統に対して自覚的になっ
ていくこと。

問八 ——線部⑤「アメリカで働くことを決意し」とありますが、以下

は筆者がそのように決意した理由に関する会話です。これを読み、
本文に合わないことを述べている生徒をA～Dの中から一人選び、
記号で答えなさい。

生徒A 筆者は、日本では女性も男性も人生の選択肢の数と幅が、と
ても少なく、狭いと感じていたんだね。

生徒B そう。筆者はドラえもんのしずかちゃんの生き方にはとて
も否定的な考えを持っている。

生徒C 筆者は、日本では主体的に生きること、主体的にキャリア
に関わる中で家族を持つことも難しいと考えたのだね。それで
は総合的に幸せな人生を送れないということになる。

生徒D 結局、筆者は女性が医師として専門性を高めてリーダーシッ
プを取ることができ、プロフェッショナルな女性としてリスベ
クトされるアメリカでの人生を選んだんだ。

三

①～⑩の——線部について、カタカナは漢字に、漢字はひらがな
に直して答えなさい。

- ① 山の中腹で引き返した。
- ② 寒暖の変化が少ない地域だ。
- ③ 今始めるのは得策ではない。
- ④ 空模様があやしくなる。
- ⑤ 意見が通る。
- ⑥ わずかにゴサが生じた。
- ⑦ 家計のシユウシがつり合う。
- ⑧ 親コウコウな子だ。
- ⑨ 的をイた質問だ。
- ⑩ 税金をオサめる。

四

①～⑤のことわざの□にはそれぞれ生き物を表す言葉が入りま
す。同じ言葉が□に当てはまることわざをア～オの中からそれぞ
れ選び、記号で答えなさい。

- ① □の手も借りたい。
- ② 飼い□に手をかまれる。
- ③ 泣きつ面に□。
- ④ とんびが□を産む。
- ⑤ □とたぬきの化かし合い。

【選択肢】

- ア □に小判こばん。
- イ 能ある□は爪をかくす。
- ウ □も歩けば棒にあたる。
- エ □につままれる。
- オ 虻あぶ□取らず。